

令和3年度2月定例麻績村教育委員会 会議概要

開催日時 令和4年2月2日(木) 午前9時30分～

開催場所 麻績村地域交流センター 第3・4研修室

出席委員	職務代理	市ノ瀬淳一	委員	小山正文
	委員	宮下温子	委員	小松小百合
出席職員	麻績保育園長	塚原京子	麻績小学校長	佐々木英明
	筑北中学校長	白井伸明	教育長	飯森 力
	教育次長	塚原優仁	主事補	龍頭詩織

1 開会

2 教育長挨拶

①教育長挨拶

3 報告事項

①教育長報告

・近況報告

②保育園長報告

・近況報告

③小学校長報告

・近況報告

④中学校長報告

・近況報告

質疑内容

小山委員:保育園で2月の園だよりの右側の「ちょうどいい暮らし」って、これは保護者向けにですか。

塚原園長:保護者向けです。「こんな所、こういうお子さんがいますよ、こんな風に接した

らどうですか」ということで載せさせていただきました。

小山委員:配っただけじゃなくて口頭で説明とかはしましたか。

塚原園長:口頭で説明する機会が今なくて、今年、毎年講演会とかというところで色んなお話を聞いてもらう機会があるんですけども、なかなかできないので、こういった園だよりを利用しながら伝えるようにしています。

小山委員:わかりました。ありがとうございました。

小松委員:私も「良いことだな」と思って見させていただいたんですけども、前に保護者さん、子どもが小さければ小さいほど色んな不安とか、本当に些細なことでも色々不安が出てくるんですが、それについてやっぱり周りに聞いたりとか、そういうことがなかなか今しにくい、皆さん生活するので精一杯で、忙しい中保育園からもうこういう何度も読み返せるような教本として、こういう知識が入ってくるとすごく良いなと感じました。前はなかったですよ。

塚原園長:そうですね。ちょっとたまたま、身近にありうるこういったちょっとした心配事って、やっぱりなかなか自分のやり方が良いのか悪いのかわからない状況のものを見つけたので、良いものを見つけた時にはその時に入るくらいのものに縮小しながら入れたりしています。

小松委員:「良いことだな」と思って見ていました。ありがとうございます。

教育長:これについてはこのような形態の部分で、一昨年とその前の年と2年間公民館のほうで小さい親子のための相談会で5回くらいの回数でやってきたので、去年もやろうと思ったんですがコロナでちょっとできなくなっちゃったので止めているんですけど、またできればこういうのも続けていければなと思っています。これは親と先生と一対一で行う5回くらいの回数でできるやつでやっていましたので、またやっていきたいなと感じています。ありがとうございます。

市ノ瀬職務代理:今放課後児童クラブはどうなっているんですか。

教育長:やっていますよ。

市ノ瀬職務代理:やっているんですね。それも対応は小学校のものと対応の仕方は同じなんですか。

教育長:同じです。児童クラブは指導員がだいぶ苦勞をしているようです。学校の時はまだ先生のいうこと聞いて、ある程度聞いてくれるからいいけど、放課後児童クラブ行くと先生じゃないのでなかなか大変なようです。

小山委員:何人くらいいるんですか。

教育長:そんなに多くないよね。

塚原次長:今そんなに多くないですね。低学年が主に来ているようですけれども。

佐々木校長:コロナ対策も、バス待ちがあるんで早く下校すると結局待っている子たちが30人くらいいて、その子たちが結局異学年と一緒になったりするとダメだなというのと、結局児童クラブへ行く子が出てくるとそこはまた異学年とぐちゃぐちゃになるので、と考えると6時間学校のほうで分けた生活きちっとしたほうが実は感染対策としては良いんじゃないかというのもあって、小学校はこの態勢を取っているところなんです。

小松委員:それニュースで言っていました。やっぱり学校で対策取っても、その後例えば学校休みになった子どもたちが街中にわらわらといて、どうなんだろう、「対策取らないほうがむしろ良いんじゃないか」とニュースで言っていましたけどね。その問題はありますよね。あとコロナで、家のことなんですけれども、埼玉で暮らして埼玉の大学に通っている娘が「濃厚接触者」というのになりました、それで結局もう埼玉今大変なことになっているので、保健所からは一切連絡がなく、部活の仲間だったんですけれども、部活の仲間本人からと、あと大学から「あなた濃厚接触者なので自宅待機してください」ということで連絡があった後もう何にも音沙汰がなくて、親としては毎日連絡をしながら過ごしました。幸い何ともなくてよかったんですけれども、結局食料どうしようという段階になったんですが、それすらやっぱり何も外との連絡が何もなくて、ただ友達が支えてくれたのと、唯一大学が連絡をくれたりとか途中で隔離期間というか自粛期間が10日から7日になりましたので、「もう大丈夫ですよ」というその連絡があっただけで、本当に大変だったなと感じました。こっちも心配だけでも飛んでもいけないし。そういう中で「きっとたぶん孤立しちゃう人がいっぱいいるんだろうな」って、「いざとなると学校が頼りだったな」というか、「いざとなったら大学に電話しよう」とか思いました。だから麻績もどういう状況になるかわからないんですけれども、教育機関でも孤立させないという配慮が必要になってくるというのは特に感じました。ちょっと私事でしたが。

宮下委員:小学校の様子いつも見させていただいているんですが、1月は長幅先生が筑北小からいらして、4年生の対応ということだったんですけれども、他の組の子どもたちもすごく喜んでいたような様子が見受けられました。ZOOMの交流の授業ですごく活躍されたということで、「教育実習に来てくださるというのはすごく良いことなんだな」と感じました。まん延防止になってしまって体育の授業だとか2時間目休みの制限ができてしまったことで、あまり体を動かす、冬でもあるので外をマラソンしたりだとかというようなことが難しくなっていて、こう制限ある中で体育の授業を保健の授業に切り替えたりというような対応をしていただいている、低学年は縄跳びなんかやって個人で体力づくりしていただいているんですけれども、ちょっと高学年くらいの体力づくりというか今習い事の関係、体育館が使用できない関係で、普段身体を動かしていた子どもたちも体を動かさない状態というか「運動不足になってるんじゃないかな」というのはすごく感じられて、「20日目まではまあしょうがないのかな」というところもあるんですけど、少し「そういう風に体を動かすようなことにシフトできたら良いな」と見ていて感じます。

小山委員:小学校で1月26日のZOOM交流会、本当に成功だったということで何よりです。特に4年生がね、「少ない」「少ない」って親も保護者も言っている中でこういう形で1つの教室じゃない、ZOOMという形で30人の授業できたということで良

かったなと思いますし、また2月もそういう構想があるということで、ぜひそういうのも両方とも小規模校ですので上手く生坂も含めたりして繋いでいただけたらと思います。ありがとうございました。

市ノ瀬職務代理: さっきお話に出ていた教員住宅のエアコン、ないんですね。どこも付いてないんですかね。

白井校長: 草間先生自分で付けたみたいだから。ミヤシタ電器さんに聞いたら「そうだ」って言うから、そういうことみたいですけど。

佐々木校長: 去年、組合のところもあるけど、「教員住宅にエアコン欲しいな」って実は教育委員会には話を1回したことはあるんですけど。

市ノ瀬職務代理: 私も塩尻にね、単身赴任で行ったときに平屋のトタン屋根のそこだった。学校から帰ってきて夜になるとものすごい暑いんですよ。で、エアコンはもちろんないし。窓を開けて金網は何とかあるんですけど、まあ厳しい生活でした。

白井校長: 個人的ですけど、エアコンは個人で付けるほうが良いかなって、そこまで付く教員住宅やれば「相当麻績村もすごいな」と思うんですけど、でも付いてれば付いてるに越したことはないというか、「すごいな」と思いますし。だから聞いた時には「自分で付けたんだな」とただ私は思ったんですけどね。だからこれ以上は望みません。

教育長: ありがとうございます。また繋げていくようにはしたいけど、実際に教員住宅じゃなくて村営住宅のほうはほとんど整備されてきているんですが、やっぱり家賃が全然違うので、そこら辺で上のほうもちょっとなかなか前へ一步踏み出せないの、少し家賃上げても良ければ付くのかなという気もします。今教員住宅には、村営住宅のたぶん3分の1以下くらいの家賃で入っているの、なかなか厳しいかなという面も見取れます、上の考え方はね。またちょっと考えていくことも大事だと思います。できるだけ先生に来てもらいたいから、そこら辺も考慮していくということで、ちょっとやっていきたいなと思います。

佐々木校長: 一昨年うちにいた講師が、夏暑くて毎晩聖湖の駐車場で車で上がってそこで寝たという話があって、去年は草間先生「もう暑くて耐えられない」と言ってエアコン入れたんですよ。そんな笑い話があって、我慢すればいいことですので。

教育長: 前向きに検討させていただきます。

塚原次長: ありがとうございます。他にございますでしょうか。

白井校長: ここで言うことじゃないかもしれないんですけども、ワクチンの接種で教育長さんからもお話があって、「3回目については教職員は各自治体の流れの乗って」というようなことだったんですけども、麻績のほうでもしかしてちょっと余ったりとか余裕があるようだったら、この年度中くらいに職員もワクチン接種やらせてもらえればありがたいなということをお願いします。たぶん自分とか村の人達は来ると思うんだけど、あと安曇野、塩尻、松本、更埴とかから来ている先生方多いので、できたら職員も喜ぶと思いますので、可能でしたら。

教育長: はい。私これ県のほうにも保健所にも言おうと思うんですが、福祉施設の職員優

先しているんですね。それもそうなんだけど、「子どもたちを預かる先生方も優先してもらわないとちょっとおかしいんじゃないかな」と考えてはいるんですけど、そこがまだなかなか指令が出てこない。なのでそこら辺のところもちょっと考えて、保育士はどうなの。

塚原園長:保育士は受けられます、だいたい2月中に全員受けて。

教育長:そうなんだよね。児童福祉というほうを拾っちゃっているの。

塚原園長:村外の保育士は集団接種、長野市とか松本市とかが早めに受けられるので、「できたら集団接種のほうに」と村外の保育士言われたんですけど、でも担任持っていたりとかするともうそのところは、村外の保育士で担任を持っているのが2名いるので、「そこは何とか入れてください」とお願いして、2月中にはやれるようにしました。

教育長:各村ではなかなか対応が取れないので、本当は県で指令を出してくれれば結構上手くいくと思うんだけど。

臼井校長:中学校は子どもたち7割くらいワクチン打っているの、ちょっとくらい延びてもという訳じゃないですけど、小学生は受けてないから小学生のところに例えば教員が持ってきちゃったりすれば広がる可能性、保育園はやられているということであれば、小学校のほうを優先して段階的に中学校に広げてもらうとかという風なことをしていただいたほうがありがたいなと思います。小学生無防備なので、たぶんその所は優先した方が良く思うんですけど。

佐々木校長:昨日あたりから職員室でそのことが話題になっていて、「どうなるかな」とか、栄村のようにもう私もそうですけど「接種券は来たよ」というところもあれば、ここで打たせていただいた外から来ている先生方にとってまだ先の話になるといったときに、「何かそういう話はどうなのかな」「できればそうしてもらえると」という話は実際にあったんですけど、とにかく「教員はエッセンシャルワーカーではない」という県の定義があるので、これが厄介なんだろうなと思ってはいるんですが。

教育長:そこら辺も直してもらわないといけないと思うが、なかなか上手く上へ伝わらないので困ってはいるんですけど。世の中毎日テレビ見ている「ワクチンの接種の予約がまだ3割」だとか、他所では余っているような状況なんですけど、どうなんだろうかという気はちょっとしてはいるんですけど。

小山委員:長野県だって、松本とか長野とか学校が集団感染の元になっちゃったことある訳でしょ、それが小中高かよくわからないけど、そう考えれば県だってもう少し先生方を。

教育長:考えてもらわないと。

小松委員:デルタと違ってオミクロンは子どもたちの感染が多いですもんね。

佐々木校長:下から来るからね。

宮下委員:それで家族に。

教育長:たぶん直11歳以下のワクチン接種始まるような状況になってくると思います。わかりました。ワクチンについてはまた。

塚原次長:確認します。

教 育 長:ただ県でやっているやつは連絡すれば受けられると思いますので、もし時間が取ればそういうことも重要だと思います。あれ確か村からの接種券が来なくても確か広域でやっているやつは受けられると思いますので、もし時間が取れたり時間が合えば、やっていただければありがたいのかなと思います。

4 協議事項

① 就学援助対象児童の認定について（新入学時）

⇒認定5件

② 令和4年度 教育委員会主要事業（案）について

⇒説明後、修正・追加等を依頼

5 その他

① 各委員から

・宮下委員より【保育園年長児の小学校体験について】

⇒保育園長、小学校長において検討

② 事務局から

・予算について説明

⇒令和3年度10号補正、令和4年度予算査定等

・まん延防止等重点措置適用期間中の施設利用についての対応

⇒グラウンド、体育館、交流センター、旧麻績小学校北校舎等「当面の間」利用停止
児童クラブは開所中、小学校で新型コロナウイルス感染症陽性者出た場合には閉所

・保護者からの要望等について

⇒2月末開催予定だったがまん延防止等重点措置適用のため時期未定

・中学校付近における水路工事への対応について

・小中学校の机について

⇒新しい机の搬入等について検討

次回開催日程 3月2日（水）午前9時30分～

6 閉会